



超我の奉仕

2005~2006年度
国際ロータリーのテーマ
超我の奉仕

2005~2006年度
カール・ヴィルヘルム・スンハマー

Weekly Report

～新世代のための月間～

「各ロータリアンは青少年の模範」
(Every Rotarian Exemplifies Youth)

▶ 第1242回例会

2005年9月15日(木) 晴 第10回

司 会:(佐藤一郎会場委員)
体 操:ストレッチング(堀 慎治会場委員)
斎 唱「それでこそロータリー」

▶ 会長挨拶



先日、米国南部を襲ったハリケーン「カトリーナ」の規模は、米国観測史上四度目の「レベル5」でした。ちなみに、最大風速78m/s、中心気圧902hp、最高潮位6~9m。未だに被害状況が確定せず、復興の見通しも立っていません。

今回最も被害の大きい所は、ニューオーリンズ市で、強風による家屋の被害と堤防の崩壊による浸水です。街のおよそ8割が浸水しました。この街は、海拔ゼロ地帯で、通常水位が海拔4mのミシシッピ川と、海拔0mのポンチャートレーン湖に囲まれています。その湖の海拔5.5mの堤防が3カ所崩壊し、その水が流入しました。22基あったポンプは全部停止し、使用出来ませんでした。

伊勢湾台風では、同じような経験をしました。私の工場も堤防の崩壊と高潮で約2メートル水没しました。なんの因縁かその4年前、大学で卒業実験研究したのが「堤防」で、堤防が浸透水によって崩壊するメカニズムの実験研究でした。この論文を土木学会で発表させてもらったばかりでした。堤防については何か縁がありますので、少し意見を述べさせて頂きます。水は低きに流れるという自然現象に逆らって造るのが堤防ですから、絶対的に強いものはありません。一般的に堤防というものは、水の流れを変える一時的な応急対策が積もり重なって、長年経て完成されたかに見えているだけだと思います。どの河も河床の浚渫と堤防の補強は常に行われ、水とのせめぎ合いをやっているのが現状です。

本題に帰りますが、堤防、特に湖や平地の河のものは、土堰堤です。すなわち、土を盛った梯形(台形)のものです。湖水や川の水の常時水位の時はあまり役に立っていないもので、増水時に水を河や湖の外側に流れ出ないよう止めるものです。(常時水を堰き止めているのは堰堤です)土の堤防が最も弱いのは、堤防を越えて水が流れた時です。次は雨水や堤外の水の浸透水によるものです。堤防体内に浸透した水が定常流や、飽和状態になると、法背面の滑りや、液状化が起こり崩壊に至ります。今回、ニューオーリンズの堤防崩壊の原因は、強風による大波と、異常な低気圧による水位の上昇と考えられます。水圧の高い水が堤防を乗り越えたと思われます。堤防はあるから安全ではなく、あるから危険と考えて下さい。

▶ 幹事報告

鈴木幹雄幹事

- ・本日メールボックスに、「第3回ロータリー団体東京大会」の案内が入れてあります。出場ご希望の方は、事務局までご連絡下さい。
- ・10月22、23日の地区大会出席者のメールボックスに、当日のシャトルバス乗車場所の地図並びに、駐車許可証が入っています。当日お忘れなくお持ちください。

創立:1980年(昭和55年)1月10日

会長:守谷巖樹

幹事:鈴木幹雄

会報委員長:長坂邦雄

例会日:毎週木曜日 PM12:30~

会場:ヒルトン名古屋

事務局:460-0008

名古屋市中区栄1丁目3-3

ヒルトン名古屋910号

T E L:052-211-3803

F A X:052-211-2623

M A I L:2760nagoya@mizaho-rc.jp

U R L:<http://www.mizaho-rc.jp/>

▶ 出席報告

天野正明副幹事

会員75名 出席48名 (出席計算人数56名)

出席率66.07%

9月8日は補填により 91.07%

9月1日は補填により 96.43%

8月25日は補填により 94.64%

▶ 臨時例会変更のお知らせ

名古屋西				10/20(木)
名古屋南				10/12(水)※
名古屋北		10/7(金)※		10/21(金)
名古屋守山				10/19(水)
名古屋みなど				10/21(金)
名古屋東南				10/19(水)
名古屋名東	9/27(火)	10/4(火)		10/18(火)※
名古屋千種		10/4(火)		10/18(火)
名古屋大須		10/6(木)	10/13(木)	
名古屋栄		10/3(月)◆	10/10(月)※	10/17(月)◆
名古屋名南			10/11(火)◇	
名古屋昭和		10/3(月)	10/10(月)※	
名古屋西南	9/29(木)		10/13(木)	
名古屋錦	9/27(火)			
名古屋東山		10/6(木)	10/13(木)	
名古屋空港	9/26(月)		10/10(月)※	
あま		10/3(月)		
西春日井	9/27(火)			
尾張中央				10/19(水)
豊山一城北	9/27(火)			10/18(火)
名古屋葵	9/29(木)※			10/20(木)※

(注)※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。

◆はサイン受付時間が17:00~18:00となります。

◇はサイン受付時間が17:30~18:30となります。

▶ ニコボックス

岡村達人ニコボックス委員

・敬老の日と女房の誕生日です。

中川啓二朗君

・郵政民営化法案選挙の勝利を祝して。

岩田吉廣君

・敬老扱い、喜ぶべきか、悲しむべきか。

守谷巖樹君

・おヒサで~す。

内田久利君

・9月13日、稻葉さんに大変お世話になりました。1月より吉木さんにお世話になっておりましたが、やっと終了しました。有難うございました。クラブの古希以上の皆様、ますますのご活躍を祈念して。

大島浩嗣君

・ある老人ロータリアンがH'CP10になったそうです。年金全てつぎ込んでシングル目指すそうです。イニシャルはY.Sです。岡村達人君

・6週間ぶりの出席です。

細川 達也君

・慣れない会報で頑張っております。いつも田口さん、高木さん、平野好道さんにご支援頂き、感謝しております。 松岡 道弘君

・本日は卓話を担当させて頂きます。天野さんと渡辺さんはお力ををお借りします。有難うございます。拙い素人話ですが、よろしくお願い申し上げます。

倉澤 寛君

・細川さん、大変お世話になり、有難うございました。岩本 成郎君

▶ 委員会・同好会報告

▶ ローターアクト委員:長瀬憲八郎委員長

本日、社会奉仕関係の委員の方のメールボックスに、第16回アクターズミーティングの案内を入れておきました。2760地区のアクターの代表を、名古屋瑞穂RCの江村さんが務めております。提唱RCとしてはバックアップしていくという事で、出来る限りご出席をお願いしたいと思います。よろしくお願ひ致します。

▶ R財団委員会:岩崎道夫委員長

本日メールボックスに「ポール・ハリス・ソサエティー会員申込のご案内」を入れてあります。ご一読の上、2ページ目の申込用紙にてお申し込み下さい。創立会員、ハンギングメンバーになるという名誉あるものです。内容は、一年1,000ドルを、毎年寄付して頂くという趣旨です。ご寄付頂きましたと、バッチをもらう事が出来ます。皆様是非ともお申し込み下さい。

▶ ゴルフ同好会:内田久利君

10月14日(金)に4RC対抗ゴルフ大会が、三好C.Cにて開催されます。各RCから20名ほど出席をして頂きたいという事です。今回は我々瑞穂RCがホストになっております。現在のところご出席頂ける方は8名でございます。10名のネットの合計で競うものですので、ゴルフ部の方も、ゴルフ部以外の方もご出席頂けますように、よろしくお願ひ致します。

▶ 敬老の日のお祝い

9月19日の「敬老の日」にちなみ、例会の席上において、昭和10年以前に生まれた方々が祝福されました。今回祝福を受けられたのは、次の方々です。

嶺木 一夫君 江口 金満君 湯地 輝雄君 橋本 章君
森 真佐雄君 布目 徳君 山田 鎮浩君 中川啓二朗君
鈴木 圓三君 吉田 正美君 小林 幸男君 西 初彦君
守谷 巖樹君 岩本 成郎君 岩田 吉廣君 越原 一郎君
高村 博三君



▶ お祝いの挨拶:八木沢幹夫君

皆さんおめでとうございます。先週ゴルフ場に行きましたが、そこで84歳の方を紹介されました。毎日10キロ走っているそうです。本来ですと今日が敬老の日になるわけですが、数年前から連休になるように日にちが変わりました。社会的な活動を続けているという前提のもと、ロータリアンには定年はありません。これからもよろしくお願ひします。おめでとうございます。



▶ お礼の挨拶:高村博三君

自分ではそれほど年をとったとは思っておりません。生涯、皆様方と楽しく、昼も夜もお付き合いしたいと思っております。ロータリアンで有り続ける以上は、瑞穂RCのためにも、いささかなりともお手伝いと続けたいと考えております。どうぞ今後ともよろしくお願ひ致します。



▶ 卓話

倉澤 寛君

▶ 「私の震災体験から」

本日は私の震災体験からという事で、リラックスして聞いて頂けたらと思います。お手元にお配りした資料ですが、「大震災 放送局24時間」という書籍より抜粋したものを、天野さんにして頂きました。この本の中に天野さんの弟さんが、放送局のプロデューサーとして登場しております。実際に地震の当日、六甲の町中を撮影したものが存在するとお聞きしていましたので、後ほどこの機会に是非、震災当日の朝から、その後3日間の記録映画をご覧頂こうと思います。



名古屋で過去起こった大きな災害といいますと、1959年9月26日の伊勢湾台風が思い起こされます。死者・行方不明者合わせて4,700人という記録が残っております。震災で一番大きなものといいますと、1923年9月1日の関東大震災で、マグニチュードは7.9で、死者・行方不明者は14万2,800人の人が亡くなりました。震災ではありませんが、2001年9月11日のNYセンタービルのテロ事件では、2,749人の方が亡くなりました。「災害は忘れた頃にやってくる」と言われていましたが、最近では頻繁に大きな災害が起こっています。

これから私がお話ししますのは、1995年1月17日に起きました阪神・淡路大震災についてです。マグニチュードは7.3、死者・不明者は6,436人です。それに関連しまして、東海地方の地震の現状はどう申しますと、平成16年度の消防白書によりますと、東南海・南海地震が一度に起こった場合、推定死者数は1万7,800人となっております。東海地震単体の場合は9,200人で、いずれも阪神・淡路大震災を上回る被害が予想されております。加えて、東南海・南海・東海地震が同時に起こった場合、推定死者数は2万4,700人となります。ちなみに、日経新聞の読者アンケートで「地震に対してどんな備えをしているか?」を聞いた所、中でも一番多かったのは「家具に転倒防止措置をする」という事でしたが、もし皆さんの中で、まだということでしたら是非ともお勧めしたい防災措置だと考えています。

(ビデオの視聴)

震災直後は、まさに今ご覧いただいたビデオの通りです。当時神戸大学のすぐ近くに住んでおりまして、激しい揺れで起きたわけですが、住んでいた所は地盤が固く、写真立てが倒れたぐらいでした。ですがわずか数百m南に行くと、倒壊した家屋などがあるといった状況でした。それぐらい住む所によって状況が全く違うんだと、この震災によって思い知らされました。当時は住友銀行の広報部に在職し、大阪の淀屋橋まで通勤しておりました。余震が続く中、妻に文句を言われつつも、車で出社致しました。そうしましたら芦屋のあたりで身動きがとれなくなり、午後4時まで立ち往生する羽目になりました。生活面で困った事は飲料水でした。コンビニで売っているものはすぐに売り切れ、支給される水だけではとてもまかなえません。トイレなどは、川から何度も水を汲みに行った記憶があります。また、寺社・仏閣にわき水をもらいにも行きました。日頃から何処に行けば水があるのかを確認しておくと良いと思います。ガスと電気は、地域により復旧の度合いが違い、2ヶ月も止まっている所もありました。そのため、神戸を離れる人が多くいました。ですが家財などは残しましたので、大きなマンションでは管理組合が交代で見張りをしている所もありました。その後、建て直しをするのかしないのか、そういう事も含めて精神的なダメージは非常に大きかった震災でした。本当に大事なものはなんなのか、つくづくと考えさせられました。あとは地震が起きた時に、ロータリークラブとして何ができるのかを、日頃から考えておく事が必要ではないかと思いました。

▶ 今週卓話

9月22日(木)

会員卓話:野崎洋二君 大島浩嗣君

テーマ:「名古屋瑞穂ロータリークラブ記念小学校開校式に出席して」

▶ 次週行事

9月29日(木)

ガバナー補佐訪問:12:30より

於:ヒルトン名古屋